

scenario Notes

シナリオノート
ako tsubasa

阿見 つばさ
Gallery PARC
ギャラリー・パルク

出展作家 阿見 つばさ

展覧会名 scenario Notes シナリオノーツ

会 期 2024年6月29日[土] — 7月21日[日]

13時から19時まで ※ただし毎週土曜日のみ10時から19時まで

水・木休廊 入場無料

—— 作品制作において「風景」をつくることを主題とする阿見つばさによる、ギャラリー・パルクでは初めてとなる個展。

2014年に京都精華大学デザイン学部を卒業した阿見 つばさ(あこ・つばさ/1991年・兵庫県出身)は、これまで「scenario」(FINCH ARTS/京都,2023)、「SUBJECT」(HOTEL ANTEROOM KYOTO Gallery9.5/京都,2020)、「札幌国際芸術祭」(札幌市資料館アートとリサーチセンター/音威子府村/北海道,2018)、「氷橋幌」(札幌500m美術館/北海道,2018)、「花路里と花路里 / PEGASUS / どこやここ」(3331 Arts Chiyoda/東京,2016)などでの発表の他、2022年9月から2023年6月まではフランス政府とヴァルドワーズ県の奨学生としてパリ・セルジー国立芸術大学に在籍していました。

阿見は「タイトルと共に日々を過ごすという表現手法」=「scenario(シナリオ)」という方法を用い、そこから多様なメディアや手法によるインスタレーション(と呼ぶことのできる)作品やパフォーマンス(と呼ぶことのできる)作品へと展開しています。たとえば、北海道・美幌にある「花路里」というスナックを巡ってごく私的な物語を追った(つくった)「花路里」や、北海道・音威子府村に60年ほど前まであった氷橋(川面を覆う氷を切り、それを架けて橋にする)を眼差した『氷橋幌』など、阿見は個人的な体験や私的なつながり、それともなうオブジェクトや造形物などの一連を「作品」としてきました。それらは一見してとりとめなく、理解しにくい、いわゆる「わからない」と呼べるものですが、その「わからなさ」はまた、鑑賞者の眼差しと思考を誘い、そこに運動を起こすものとも呼べるものです。

本展「scenario Notes シナリオノーツ」は、ギャラリー・パルクの会場を期間限定の阿見のアトリエとして設定し、阿見の過去・現在・未来において関係する「何になるかわからないもの」が置かれることとなります。またここは阿見と来場者にとっての芸術や学術の対話の広場でもあり、その時々での作品の展示の場でもあるといいます。同時に『素材や存在を取り扱うことへの課題から、かたちに残す作品制作にこたえが見つからないでいる。ことばを残す紙を知り、本を知り、ことばを知り、色を知り、本をつくらうとしている』と話す阿見にとって、『本』をつくらうとするための機会でもあるといいます。

要するに本展は「〇〇を見せませう」として結果や目的を確約するような展覧会ではなく、「何が見えるか・何が見えないか」を起点とするもの(展覧会)であり、重要なのはそこから対話や思考など「何がはじまるか」あるいは「何をはじめてみることができるか」を主題とするものであると言えます。間違っているかもしれませんが。

会場・主催 ギャラリー・パルク

602-8242 京都府京都市上京区良莠町287 堀川新文化ビルヂング 2階

075-334-5085 / info@galleryparc.com / www.galleryparc.com

アクセス 〇地下鉄烏丸線「丸太町」・「今出川」駅より徒歩約20分

〇地下鉄東西線「二条城前」駅より徒歩約18分

〇京都市バス9番・50番(JR京都駅から約22分)・12番(阪急烏丸駅から約15分)系統「堀川中立売」バス停下車徒歩1分

〇駐輪場・駐車場 ※満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

scenario Notes
シナリオノーツ

ako tsubasa

阿見 つばさ

2024年6月29日[土] — 7月21日[日]

展示会場が「阿児つばさのアトリエ」となる本展では、毎週土曜・日曜・月曜を中心にイベントが多く行われます。詳しくはギャラリー・パルクのHPやSNSで確認ください。

関連イベント「オープニングイベント」

6月29日 [土]

10時～11時・阿児つばさによる作品についての話

11時～14時・廃材でつくろう! まち、モンスター、プラカード、わたし!

15時～16時・阿児は京都市役所から出発するパレスチナ連帯デモに参加。(希望者はぜひ一緒に!)

17時～18時・鴨川(三条大橋下)にて京都市の美術家有志の会(小田原のどか、阿児つばさ)による活動報告集会

18時～21時・鴨川(三条大橋下)にてオープニングパーティー

「創作活動の日」

会期中の毎週土曜日(6月29日・7月6日・13日・20日) 10時～14時

廃材でつくろう! まち、モンスター、プラカード、わたし!

まちでもらってきた廃材を使ってそれぞれに作りたいものをつくることができます。ゲストにこどもとアトリエSKOG(スコグ)、社会運動部Demo Demo Kyotoが来てくれます。阿児つばさもいます。お昼ごろに美味しいケータリングもあります。つくらなくても、ごはんだけでもふらりとのおいでみてください。

「対話の日」

6月29日を除く会期中の毎週日曜日(6月29日・7月7日・14日・21日) 16時～18時

阿児つばさが気になっているテーマを設けています。集まった人で話ませんか? もちろん聞くだけでも歓迎です。予定している内容には

6月29日・「京都市の美術家有志の会(小田原のどか、阿児つばさ) 活動報告集会、身近な社会運動の実践から暮らしを考える」

7月7日・「フェミニズムと資本主義(仮)」

7月14日・「森の歴史と気候危機(仮)」

7月21日・「言語政治学(仮)」

などです。内容や詳細など確定したらギャラリー・パルクSNSなどで発表します。ぜひ。

「作品についての話、楽器の練習」

会期中の毎週月曜日(7月1日・8日・15日) 18時～19時

阿児つばさが作品にまつわる話をします。また時間帯は問わず、自作楽器の練習などを行っています。

どうぞ一緒に。

各イベントの詳細情報などは、ギャラリー・パルクのHPやSNSで確認ください。



scenario Notes
シナリオノーツ

ako tsubasa
阿児 つばさ

2024年6月29日[土] — 7月21日[日]



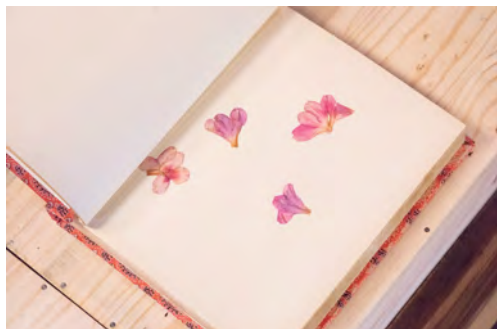
島豆腐花と
2019 / パフォーマンス
撮影: West Kowloon Cultural District



氷橋の映像記録 2018
2018 / 映像インスタレーション



花路里
2016 / インスタレーション、パフォーマンス
撮影: Chris Rudz



幌
2017 / インスタレーション、パフォーマンス
撮影: 斐生田兵吾

【本展について】

作品制作において「風景」をつくることを主題とする阿児つばさによる個展。

会場は阿児のアトリエを想定して空間構成され、「何になるかわからないもの」が置かれている。阿児と来た人にとっての芸術、学術ひろばであり、作品展示の場でもある。

風景はいかにつくれるか、私(たち)はその断片を記憶できるか、私(たち)はその連なりを記録できるか。これまで「シナリオ / scenario」「デイ シナリオ / day scenario」「シナリオノーツ / scenario Notes」として試みてきた。

素材や存在を取り扱うことへの課題から、かたちに残す作品制作にこたえが見つからないでいる。ことばを残す紙を知り、本を知り、身体を知り、色を知り、社会を知り、ことばを知り、本をつくらうとしている。

【C.V】

阿児つばさ Tsubasa Ako (1991-)

2014年京都精華大学デザイン学部卒業。2022年9月から2023年6月までフランス政府とヴァルドワーズ県の奨学生として、パリ・セルジー国立芸術大学に在籍。

【おもな展覧会】

2023 個展「scenario」/ FINCH ARTS (京都)

2020 SEASON 2 / はならあと こあー宇陀松山ー (奈良) 2020
SUBJECT / HOTEL ANTEROOM KYOTO Gallery 9.5 (京都)

2019 ARTISTS' FAIR KYOTO 2019 / 京都新聞ビル 印刷工場跡 (京都)

2018 個展「the "nom nom" Book 図」/ momurag (京都)

* 真空ろまん / kumagusuku (京都)

* 第6回札幌500m美術鑑賞展 / 札幌大通地下ギャラリー-500m美術館 (北海道)

2017-18 冬のあわい / awai art center (長野)

2017 船 / 橋 わたす / 奈良県立大学 (奈良)

* 札幌国際芸術祭 2017 : アートとリサーチセンター / 札幌市資料館 (北海道)

* アンキャッチャブル・ストーリー / 瑞雲庵 (京都)

* 北の脈々 / 札幌大通地下ギャラリー-500m美術館 (北海道)

* 3331 Art Fair 2017 -Various Collectors Prizes- / 3331 Arts Chiyoda (東京)

2016 個展「花路里と花路里 / PEGASUS / どこやここ」/ 3331 Arts Chiyoda (東京)

* 個展「花路里」/ Division (京都)

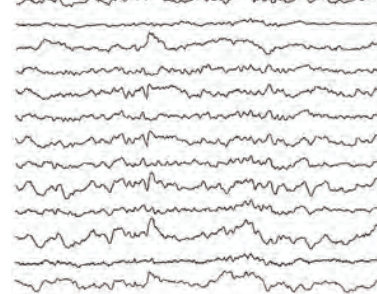
* TRANS ARTS TOKYO 2016 / 田中商店 (東京)

* 3331 Art Fair 2016 -Various Collectors Prizes- / 3331 Arts Chiyoda (東京)

2015 個展「大事な本 -the nomnom Books-」/ momurag (京都)

2014 京都精華大学卒業制作展 / 京都市美術館 (京都)

2013 個展「知らない間」/ kara-S (京都)

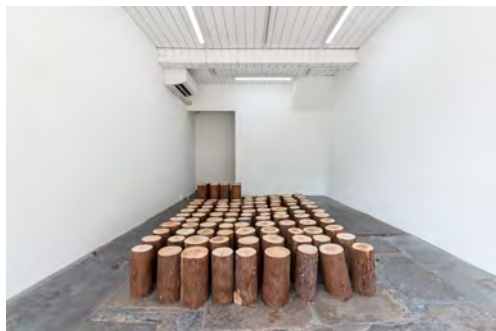


scenario Notes
シナリオノーツ

ako tsubasa

阿児 つばさ

2024年6月29日[土] — 7月21日[日]



a? Fê G pop (等)
2023 インスタレーション、パフォーマンス
撮影: 岡はるか



a? Fê G pop (ちきゅうのれきし)
2023 インスタレーション、パフォーマンス
撮影: 朝海陽子

[パフォーマンス公演等への出演]

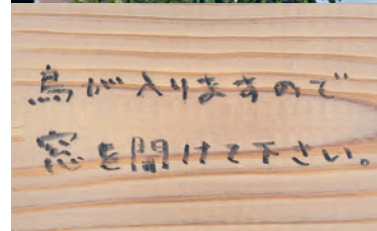
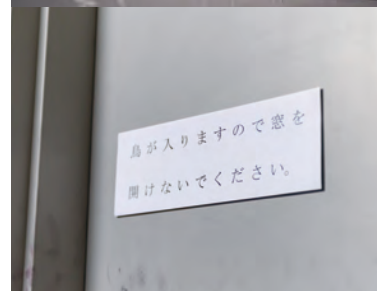
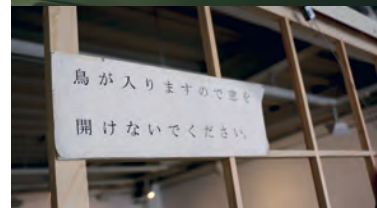
- 2019 入船 19 / 大阪の水路 (大阪)
 - * Creative Meeting Point : Hong Kong x Japan Work in Progress Presentation / 8 / F Platform (香港)
 - * おも茶会 / 京都芸術センター (京都)
- 2018 「入船」出版記念 クルーズ / 大阪の水路 (大阪)
 - * JCDN国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクト VOL.8 2018日本—香港 共同制作プログラム プレゼンテーション / 友利エコハウス (沖縄)
- 2017 ぼこぼこアワー はじめの光・編 / アートエリアB1 (大阪)
 - * 況や / なんばベアーズ (大阪)
 - * OFF Airチャンネル / JikanDesign (大阪)
- 2016 ノイズ中村10周年フェス『おパーティ!』 / SHIBAURA HOUSE (東京)
 - * 咲くやこの花芸術祭2016: ゴンゾ解体新書 / 大阪市中央公会堂 (大阪)
 - * テニスコート展: マジックトルバドール / キチム (東京)
 - * ぼこぼこアワー 漁ぼ港編 / 長田港 (兵庫)
 - * ぼこぼこアワー 京都編 / Division (京都)
- 2015 ぼこぼこアワー Art Theater dB神戸編 / danceBox (兵庫)
 - * ぼこぼこアワー アートエリアB1編 / アートエリアB1 (大阪)
 - * PLAY vol.1 塚原悠也 / 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 (香川)
- 2014 六甲ミーツ・アート 芸術散歩2014 : yama surfer, returns. / 六甲山カントリーハウス (兵庫)
 - * KYOTO EXPERIMENT : xapaxnannan (ザパックス・ナンナン) : 私たちの未来のスポーツ / 西京極スタジアム (京都)
 - * 南山城村芸術祭2014「村の芸術祭」 / 南山城村 (京都)
- 2013 熊を殺すと雨が降る / AI・HALL (兵庫)
 - * 梅田哲也+コンタクトゴンゾ+志賀理江子による「水産保養所」クローゼットツアー [Short ver.] / 水産保養所 (青森)
- 2011 Musutafa United V.S. FC Super Kanja / AI・HALL (兵庫)

[短期滞在制作活動]

- 2019 JCDN国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクト VOL.8 2018日本—香港 共同制作プログラム / 香港
- 2018 JCDN国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクト VOL.8 2018日本—香港 共同制作プログラム / 宮古島
- 2017 京都: Re-Search 2017 in 京田辺 / 京田辺市、京都
- 2016 アートトリサーチ / さっぽろ天神山アートスタジオ、北海道
- 2014 十和田生活 | 馬と芸術 / NAKARI WOOD ART STUDIO、青森
- 2013 「鳥袋道浩: 能登」メンバー / 金沢21世紀美術館、金沢

[受賞]

- 2017 「第6回500m美術鑑賞」グランプリ 受賞
- 2016 「3331 Art Fair 2016 -Various Collectors Prizes-」3331 Arts Chiyoda Prize, Satoshi Tokoro silver Prize, Hanapusa Grand Prize, 受賞
- 2022 Val d'Oise International Grant



scenario Notes
シナリオノーツ

ako tsubasa
阿児 つばさ

2024年6月29日[土] — 7月21日[日]